

韓国・ソウル市居住者の居住貧困化プロセスにおける地域効果

- 社会的排除論からの観点を中心として -

全泓奎* 城所哲夫**

和文抄録

本研究は、社会的排除論からの観点を中心として韓国・ソウル市の居住貧困地域における地域効果とそれによる居住貧困化のプロセスとメカニズムを明らかにし、社会的包摂の課題を探るための基礎的知見を得ることに目的がある。都市における特定地域への剥奪の集中は社会的・経済的機会に何らかの影響を及ぼし、ひいては社会参加に対して制約をもたらす。本研究では、社会的排除と地域効果に関する文献研究から得た知見に基づき、代表的な地域効果を「貧困の集中及び立地」、「サービス」、「社会化及び社会的ネットワーク」の3つに大きく分けた。そしてソウル市の居住貧困地域の居住者に対するライフ・ヒストリー調査を実施し、地域効果による居住貧困化のプロセスとメカニズムを分析した。その結果、居住貧困地域は社会的制度へのアクセスや地域ネットワークへの統合の具合によっていくつかの類型に分類できることがわかった。それらから、居住貧困地域の再生においては、物理的空間の整備だけではなく、それぞれのニーズに対応するための関連制度等の変更を通じた、地域社会と居住者に手段を保障するリソース・アプローチへの転換が必要であることを提示している。

* 日本福祉大学COE主任研究員

**東京大学大学院都市工学専攻